

“ソムリエファームわたなべさんち”は野菜の生命力を活かした栽培に取り組み、自家野菜・米粉で作るピザ体験と野菜収穫体験ができる地産地消と食育をモットーにしている農家体験施設です。野菜ソムリエと食育ソムリエの資格を持つお母さん（和代さん）と、野菜作りの師匠でありピザ窯師でもあるお父さん（明さん）の2人で8年前に始めました。そこに最近、次男の剛さんと長女の陽子さんが加わりました。

農業担当の剛さんはエンジニアとして長く東南アジア勤務をしていましたが、農家を継ごう！と戻ってきて、今は一から勉強しているところです。シェフとして手作りピザ体験を担当している陽子さんは3年半フランスで料理の勉強をして帰ってきたばかりです。

こんなに国際的で自由なわたなべさんちの2つの秘訣をお聞きしました。

- ①わたなべ家では家族全員で未来のことやこれからの目標などを話し合い、お互いを尊重しながら仕事の分担を決める「家族経営協定」を考えています。
- ②「家訓」1、まずやってみようと思うこと 2、思ったら始めること 3、始めたらやめずに続けること 4、結果は自ずとついてくる（父より追伸：それでだめならやめちまえ）

わたなべ家では、4人で未来設計図をつくっているところだそうです。お父さんがとても嬉しそうに「まずは2階を改造して娘のレストランをつくらうかな。」と一言。

ここには、みんなが共に認め合い支え合う、いきいきと元気な家族の姿があります。



（左から 陽子さん、和代さん、明さん、剛さん）

海匝・山武 男女共同参画だより

2017年11月1日



「男女共同参画」と聞くと、「難しい」「よくわからない」と思うかもしれませんが、実はごく身近にあるものです。そんな身近なところにある男女共同参画や、市町の地域推進員が日頃行っている男女共同参画推進活動を紹介します。ぜひご覧ください！

あおぞら太極拳でみんな元気！

大網白里市（矢部春美・三木美佐子）



朝7時。すがすがしい空気の中、市の運動広場にたくさんの方が集まってきます。市内外から、男女合わせて90名前後。ゆったりとした音楽が流れると、曲に合わせて舞が始まります。これは、大網白里市の「あおぞら太極拳」の様子です。北村啓子先生が主催する「あおぞら太極拳」は、男性も女性も分け隔てなく「誰でも自由に参加できること」をモットーにしています。

北村先生は、「私たちが元気であるためには、毎日の運動が不可欠。毎朝、皆さんと笑いながら体を動かせることに感謝しています。」と話します。参加した人たちは「前より体の調子がいい。」「早起きして体を動かすと1日元気に過ごせる。」といきいきしています。

「健康」は男女を問わず、みんなの願い。ここでは、男性も女性も「健康」を目標に、性別にかかわらず自主的に役割を持ちながら、活動しています。男女が認め合い、支え合いながら活動する「あおぞら太極拳」は、男女共同参画の目指す光景そのものだと思います。

「みのりの郷東金」のパワフルウーマン！

東金市（石川安子・古川煌子）

私たちは、市の産業交流拠点施設である「道の駅 みのりの郷東金」で働く女性、土濃塚雅代さん取材しました。自分達の故郷東金を誇る市にしようと、普段はポスター、チラシのほか、WEBサイトを中心とした広報活動のお仕事を担当されています。また、設立4年目の会社ということもあり、有能な人材を守る為に、女性が働きやすい職場環境づくりにも真剣に取り組んでいらっしゃいました。もちろん、子育てや介護のあるスタッフにも丁寧に話を聞き、働き続けられるように対応中とのこと！



（写真左：土濃塚さん）

みのりの郷東金では、市の名産品の一つである「植木・盆栽」を使った、『大きなBONS A I』展示会を開催するという野望があるそうです。将来を担う子ども達が、植木・盆栽を通じて東金を知り、東金をもっと誇りに思えるように。東金の将来も見据えている土濃塚さんのお話に、私たちも負けずに誰もが楽しく笑顔あふれる地域を目指し活動していこうという思いが湧いてきました。土濃塚さんのさらなる野望に希望を託して…。

「家事男」デビューで家庭円満 ◎ !

横芝光町（半田美智子・伊藤清美）



5月27日、子育て世代の夫婦を対象に「パパママ料理教室」を開催しました。

私達地域推進員は、子育て世代の夫婦のワーク・ライフ・バランスの充実を図ることを目的として、夫婦で料理作りに参加することで自分たちの家庭生活を見つめ直すきっかけにしてほしいという思いからこの企画を考えました。

当日は、町内在住の現役産婦人科栄養士の方をお招きし、だしと季節の食材を使った簡単ヘルシーメニューを

伝授して頂きました。当日は、5組の夫婦が参加し、6品ものメニューを作りました。夫婦仲良く分担しながら、笑いの絶えない雰囲気の中でレシピを学ぶことができました。

参加した夫婦から、「2人で料理することも楽しいものなのだ」と実感しました。今度子供たちも巻き込んで夕飯作ってみます！」という感想を頂きました。

子育て世代のパパとママさん！今しかできないこと、今だからこそできることがたくさんあります。あなたらしいワーク・ライフ・バランスをデザインしてみてくださいね。

<発行> 千葉県男女共同参画地域推進員（海匝・山武地域）

<事務局> 千葉県男女共同参画センター

〒263-0016 千葉市稲毛区天台 6-5-2 千葉県青少年女性会館内

TEL 043-252-8036 Fax 043-252-8037

こだわりをもって

芝山町男女共同参画担当

今回は芝山町で自分のこだわりを持ち、パン作りを行っている「earthoven ぱんやかごにわ」の山室輝美さんにお話を伺いました。

山室さんは「多くの人がいつも口にする身近なものを天然素材で作りたい」と今年の4月にパン作りを始めました。

パン作りを始めるにあたり「やるからには他人と違うことをやりたい」という思いから、パンを焼く釜もワークショップ等で作り方を学び、自分の家の田んぼの土を使い独自に作りました。

また、パンの作り方にもこだわりがあるそうで、国産の小麦粉を使用するのはもちろんのこと、ブルーベリーなどから自家製の酵母菌を作りパンの生地を作るそうです。

山室さんのパンは普通のパンと比べ多くの過程を経て完成するため、一度に作ることでできる量が限られてしまいます。そのため、現在は土日にイベント会場等で販売するのみですが、今後は自宅で店頭販売も行うことが目標だそうです。

インタビュー中パン作りへの思いを話す山室さんの姿がとても印象的で、その熱意やこだわりは、まさに働く女性のお手本だと感じました。

※出店情報を facebook に載せているので、ぜひこの機会に山室さんのパンをご賞味ください。
アカウント名 earthoven ぱんや かごにわ ID @kagoniwa2017.4



九都県市合同防災訓練に参加して

匝瑳市（大木幸恵・伊藤和子）

防災の日も間近に迫った、8月26日（土）、九都県市合同防災訓練が匝瑳市で実施され、私たちも男女共同参画地域推進員として初参加しました。

私たちは、防災フェアと避難所運営訓練に参加。防災フェアでは、緊急時の足元確保のための古新聞を使ったスリッパ作り、レジ袋を利用したおむつカバー作り、また、卵のカラでの瓦礫体験コーナーを設置。大人から子供まで楽しんでいただきました。また、避難所運営訓練では、女性の立場から感じたことなどを話し合うこともできました。ただ、全体的に女性の少なさを知り、日頃の地域活動などから、女性参加の必要性を痛感し、私たちの活動も浸透していけるよう頑張らねばと思いました。



千葉県男女共同参画推進員とは

男女共同参画社会づくりの推進には、県民一人一人の意識を高める必要があります。

そのため千葉県では「千葉県男女共同参画地域推進員」を知事が委嘱し、地域推進員は県内6つの地域に分かれて活動しています。

地域推進員は、地域と市町村・県とのパイプ役となり、各地域の特性を踏まえて、講座・講演会の開催や広報紙の作成・配布などの事業を通じ、地域での男女共同参画の意識の普及・啓発をしています。

頑張っています、女性消防士

旭市（高木弘子・宮穂広子）

旭市消防本部には現在、女性消防士が3名います。

今回は、勤務歴22年、子育てとの両立をしている宮崎さんにお話を伺いました。

男性同様、夜勤もある厳しい勤務体制の中で、家庭と仕事を両立させるのは大変だったのではとの質問には、「この勤務体制のおかげで学校行事等に参加できたのですよ。」とお答えいただき、何でも前向きな姿勢に頭が下がる思いでした。

また、救急車に同乗する際は、女性や子どもに安心感を与えられるなど、女性である利点もあり、それを活かし感謝されることがやりがいにつながると話されていました。

女性消防士の採用にあたっては、女性専用の仮眠室、シャワー室設置等が義務付けられており、旭市は環境が整備されているそうです。

快く取材を受けてくださった宮崎さんは、優しさの中にも芯の強さをお持ちの方で、男性署員や上司の方々も大変協力してくださり、職場のチームワークの良さが伺えました。貴重なお時間、お話、ありがとうございました。



（写真右：宮崎さん）

ほっとした家庭をさらにHOTにしたい！ 九十九里町（松木加津江・伊藤富貴子）



九十九里町では、平成21年から町民文化祭の期間中、「男女共同参画情報コーナー」を設け、啓発パネルの展示やチラシ等の配布、設置を行っています。

昨年は初めての試みで、11月3日の町産業まつりの日に「千葉県男女共同参画推進員」だと分かるように手作りのたすきを身に付け、男女共同参画だよりやパンフレットを老若男女幅広い年代に手渡しし、啓発活動を行いました。

これからの活動では、皆さんのご意見を伺いながら、男女共同参画について積極的に啓発活動に取り組んでいきたいと思えます。

アクセル全開！！ママさんドライバー

銚子市（高橋浪江・金尾記子）

皆さんは、タクシー利用者の半分以上が女性であることをご存知ですか？子供の送迎や介護タクシーなど女性ドライバーの需要は年々高まっています。

今回、(株)銚子タクシー様のご協力により女性ドライバー2名にお話を伺いました。

男性職場のイメージが強いタクシードライバーですが、実は自分の都合（育児・介護等）に合わせて働くことができる『女性が活躍できる職場』と話してくれたのは、ドライバー歴10年目の中村さんと7年目の田仲さんです。お2人ともホームヘルパーの有資格者で介護タクシーにも対応し、女性ならではのきめ細やかなサービスでリピーターも多いとのこと。

家族の協力はもちろん、会社の理解があるからこそ勤め続けられると、小学生2人のママである田仲さんがお話されました。

女性の活躍を応援してくれる企業が銚子市内にたくさん広がることを期待します。



（写真左：田仲さん 写真右：中村さん）